年間授業計画　様式例

荒川工科 高等学校 令和５年度（１学年用） 教科　人間と社会　　科目 人間と社会

教　科：　人間と社会　　科　目：　人間と社会　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2　学年　A　組～　E　組

教科担当者：（A～E組：中川、安次嶺、中村昌、秋野、田中裕、平本、榛葉、野村、大西、三浦光、岩井、芳賀）

使用教科書：（　　）

教科　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】生徒の自主性、社会性、道徳性を育成する。年齢・性別・人種等、自分と異なる他者への理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】問題解決能力、実践力を伸ばす。他者への寛容の態度を養う。

【学びに向かうｒｒｒｒｒｒ社会問題への関心を高め、社会の担い手としての自覚を促す。自ら形成する価値観を高め、より良い生き方を主体的に選択し、行動する力を育成する。

科目　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生徒の自主性、社会性、道徳性を育成する。年齢・性別・人種等、自分と異なる他者への理解を深める。	問題解決能力、実践力を伸ばす。他者への寛容の態度を養う。	社会問題への関心を高め、社会の担い手としての自覚を促す。自ら形成する価値観を高め、より良い生き方を主体的に選択し、行動する力を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	全体指導、ガイダンス	・この科目のねらいについて ・人間関係を築くことについて ・ 学ぶこと・働くことの意義について	活動の企画について、事前に学習している。	○	○	○	2
	グループワーク(1)	グループワーク	社会に貢献する活動について調べた内容をまとめたワークシート 活動に役立つ考え、知識をクラス内で発表する。	○	○	○	3
	事前指導	体験活動を大なう際の注意事項を理解する。	活動について事前に学習する。	○	○	○	2
	体験活動	各グループに分かれて体験活動	活動を通して自らの課題を解決できたかどうかについて、自己評価等により行う。評価表に記入して提出する。 訓練を奉仕活動とする。体験活動を通して自らの課題を解決できたかについて、自己評価を行い、評価表に記入して提出する。	○	○	○	18
２学期	体験活動	各グループに分かれて体験活動	活動を通して自らの課題を解決できたかどうかについて、自己評価等により行う。評価表に記入して提出する。 訓練を奉仕活動とする。体験活動を通して自らの課題を解決できたかについて、自己評価を行い、評価表に記入して提出する。	○	○	○	18
	グループワーク(2)	グループワーク	社会に貢献する活動について調べた内容をまとめたワークシート 活動に役立つ考え、知識をクラス内で発表する。	○	○	○	3
３学期	体験活動	各グループに分かれて体験活動	活動を通して自らの課題を解決できたかどうかについて、自己評価等により行う。評価表に記入して提出する。 訓練を奉仕活動とする。体験活動を通して自らの課題を解決できたかについて、自己評価を行い、評価表に記入して提出する。	○	○	○	18
	グループワーク(3)	グループワーク	社会に貢献する活動について調べた内容をまとめたワークシート 活動に役立つ考え、知識をクラス内で発表する。	○	○	○	3
	発表会	これまでの活動について、パワーポイトを用いてプレゼンテーションを行う。	評価表を元にしての反省と課題についてまとめる。	○	○	○	3
							合計
							70